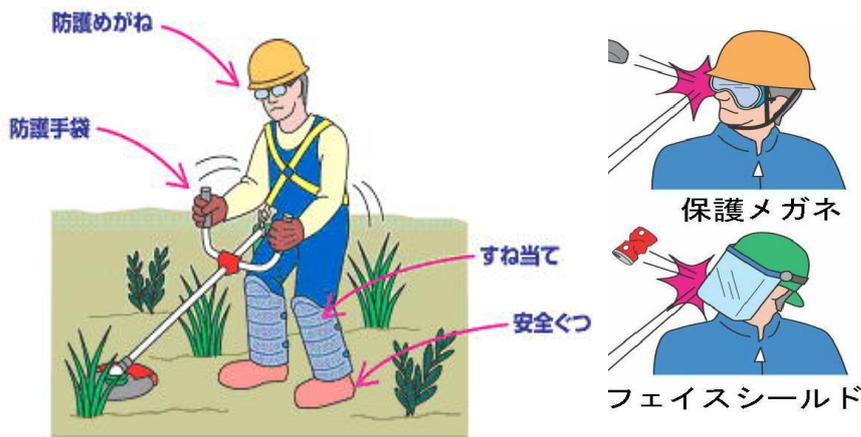


# 刈払機の事故を防止するために

## 刈払い作業では身体の防護もしっかりと



刈払い作業では、切断した草、小石等がたくさん飛んできます。万が一のために、自身も保護具で守りましょう。

1. 手袋、安全靴、保護メガネ又はフェイスシールド、イヤーマフ、すね当てを着用します。
2. 保護メガネには、曇り止めを塗ります。
3. エンジンに触れた時の火傷、刈刃の交換時の切り傷を防ぐためにも、必ず手袋を着用します。

## 傾斜地では足場を確認



傾斜地は、足元が滑りやすく、崩れることもあり、転倒のおそれがあります。転倒時に刈刃に触れてケガをする事故が多発しています。一歩ずつ足場を確認しながら作業しましょう。高低差のある畦畔、水路、堤防等の法面は、特に注意が必要です。

1. 滑り止め付きの靴を履き足場を確認しながら作業します。
2. 等高線方向に作業します。
3. 組み作業を行う際は、傾斜の上下方向で並ばないようにしましょう。

## 腰バンド装着により、不意の転倒でも刈刃との接触する可能性が低下



国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）  
農業機械研究部門（農機研）

〒331-8537 埼玉県さいたま市北区日進町1丁目40番地2

TEL 048-654-7000 URL <https://www.naro.affrc.go.jp/org/brain/anzenweb/>